

## 森林に遊び・学ぶ

森林は自然探求、情緒のかん養、生命尊重の心や、科学する心を育むなど自然に親しみ、自然を考える最適な場所です。子どもたちは、森林で体験・学習することを通じて「生きる力」を育むことができます。

### キャンプを楽しむ家族にインタビューしました (フォレストパークあたら 大玉村)

今日は、福島市のおばあちゃんの家に行く途中で、昆虫採集に来ました。シオカラトンボをゲットできました！妹も、手作りの木のアクセサリを上手にできてよかったです。もりの案内人さん、ありがとうございました！



昨年、特に会津地方の森林を案内することが震災前に比べて多くなりましたね。かなり「見学者が戻ってきたな」という手ごたえを感じています。森林は、お子さんたちが外でのびのびと遊びながら自然を身近に感じ、学ぶことができます。植物だけでなく森に住む動物たちの生態も詳しく解説しますよ。ぜひ私たちにお声がけください。



写真右から 渡辺 創太君 (宮城県仙台市・中1) 熊野 颯君 (千葉県船橋市・小6) 熊野 理子さん ( // 小1)

福島県もりの案内人の会 代表理事 薄井 浩さん

### 森のはこ舟アートプロジェクト

#### 君だけのサイの札を作ろう！(三島町)

芸術の視点から福島の伝統的な森林文化を見つめなおす取り組みがはじまっています。

「サイの札」と呼ばれる絵馬に願いごとを書き、「山の神様」大山祇神をお祀りしている三島神社に宮下地区の商店街で朱印を集めて奉納します。

9月12日(金)まで開催中。予約不要でどなたでも参加できます。



今日は、子どもたちに『サイ』の漢字から好きな漢字を選んでもらったのですが、お手本にとらわれずに独創的な文字を書いていたのが印象的でした。子どもにとって、木の札も筆も、思い通りに書くのは大変だと思います。「苦労して完成させる」という手触りの感覚は新鮮だと思いますので、ぜひ、県外の皆さんにも経験して欲しいですね。



書道家 千葉 清藍さん 森のはこ舟アートプロジェクト 検索

ぼく、「ふくしまから はじめよう。キビタン」は、ふくしまの森で育ったんだ。今日は、ぼくたちの暮らしを守ってくれている 森や林の重要な役割を見ていこう！

森林は、木材やきのこ、炭などの森の恵みをもたらしたり、森林があることで環境をまったり、災害の発生を防ぐなど、さまざまな機能を持っています。

- 木材などの恵みをもたらします。
- 雨水を土にしみこませ、ゆっくりと川に流すことで、洪水や濁水を防ぎ、水をきれいにします。
- 木の根を張りめぐらして土や岩をしっかりとつかみ、土砂が崩れるのを防ぎます。
- 空気をきれいにしたり騒音を和らげるなど、生活環境を良くします。
- 景色を楽しんだり自然を観察するなど、遊び学ぶ場所となります。
- 地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素を吸収し、木材として蓄えます。
- 多くの動植物のすみかになっています。

福島県の7割は豊かな森林が占めています。



## 県政特集

ふくしまから はじめよう。 Future From Fukushima. [企画] 福島県広報課 ☎024(521)7014

# 未来の子どもたちへ 豊かな森林も

夏休み特集 お子さんと一緒に お読みください。



「挑戦」 撮影/佐藤邦大 撮影地/三島町 (第28回ふくしま緑の写真コンクール金賞作品)

## 福島の宝を守り、育てよう

県土の約7割を占める広大な森林は福島県が誇る宝であり、私たちは昔から森林の恵みを上手にいかしながら、感謝の心を持って森林を守り、育ててきました。

こうした森林との関わりが、原子力災害の影響によって途切れかかっていることを、私は大変憂慮しております。

森林と共生した暮らしは本県にとって欠くことのできないものであり、何となくそのつながりを再生させなければなりません。

ふるさとの美しく豊かな森林を守り、育て、次の世代にしっかりと引き継いでいけるよう、共に取り組んでまいりましょう。



福島県知事 佐藤 雄平

## 第69回全国植樹祭 平成30年福島県開催が内定しました！

この植樹祭は、東日本大震災と原子力発電所事故で甚大な被害を受けた本県が、緑豊かな故郷の再生を進めていく上で大きなシンボルとなるものです。

また、復興に力強く歩む本県の姿と、国内外からいただいた支援への感謝の気持ちを広く発信して行きます。



全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林や緑に対する国民的理解を深めるため、昭和25年から開催されている国土緑化運動の中心的な行事です。

(平成26年第65回全国植樹祭の様子 写真提供:新潟県)

### 【森林についてのお問い合わせ】

- 森林のモニタリング 森林計画課 ☎024(521)7423
- 森林の整備と再生 森林整備課 ☎024(521)7429
- 県産材の利活用等 林業振興課 ☎024(521)7432
- 森林(もり)づくり活動 ●全国植樹祭 森林保全課 ☎024(521)7441



福島県森林計画課 検索

## 森林の整備と再生

震災以降、森林整備や林業生産活動が滞り、森林の持つ水源かん養機能や山地災害防止機能などの公益的機能が低下するおそれがあります。

このため、間伐などの森林整備と空間線量率の測定や木柵による放射性物質の拡散防止対策などを一体的に行い、森林の再生に取り組んでいます。



## 森林のモニタリング調査

森林除染や森林・林業の再生を進めるため、平成23年度から森林内の放射性物質などの調査を行っています。平成26年3月時点の森林内の空間線量率は、平成23年8月と比べて約50%減少していました。放射性セシウムの自然減衰率とほぼ同じく減少しています。

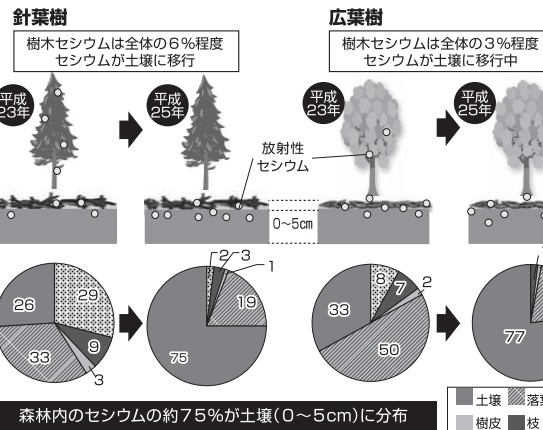
原子力発電所事故により、樹木の葉などに付着した放射性セシウムは徐々に土壌に移行しており、現在は全体の約75%が土壌に分布しています。また、事故の後に成長した新葉は、事故の前からある旧葉の5分の1程度の放射性セシウム濃度でした。今後さらに、落葉などによって、放射性セシウムの土壌への移行が進むと考えられます。このため、放射性物質が付着した土砂の流出を防ぐため、間伐等を行い、森林を適切に管理していくことが重要です。

## 木材の利用を促進します

県では、森林を公共建築物の木造化・木質化、応急仮設住宅や復興公営住宅に県産材を積極的に利用するとともに、県産材を使用した住宅の普及活動などを支援しています。



木造化した幼稚園 (会津坂下町)



森林内のセシウムの約75%が土壌(0~5cm)に分布